

# 交野市教委ニュース

第139号（令和2年11月20日発行）

## 令和2年度大阪府中学校生徒会サミットが開催されました

令和2年11月7日（土）に、「令和2年度大阪府中学校生徒会サミット」が開催されました。この「大阪府中学校生徒会サミット」は生徒の自主的・主体的な姿勢を育み、各中学校における生徒会活動の充実を図ることを目的として、平成21年度から開催されており、今年度で12回目となります。府内43市町村の公立・府立・私立中学校代表49校の生徒会代表90名が参加し、「大阪からいじめをなくすために～いじめを自分の問題として捉え、学校を安心して過ごせる居場所にするために～」をテーマに協議を行いました。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、今回は大阪府議会議場とリモートで結んでのサミットとなりましたが、交野市からは**第二中学校生徒会代表2名**が本市代表として参加しました。

### 自分や友だちが体験した“いじめ”から考えること

前半の全体意見交流の場では、他市町村の生徒会代表が自分自身や友だちが体験したいじめについて語りました。いじめは誰にでも起こりうる問題であること、家族や友だち、先生の支えで乗り越えられたこと、そして、いじめについて一人ひとりが自分のこととしてとらえ、自分たちに何ができるのかということについて問題提起されました。

- ・「次は自分がいじめの対象になってしまうのでは」という不安から、見て見ぬふりをしてしまうのは悪いとは言いきれない。だからこそ、何か方法を考えなければならない。
  - ・暴言、暴力だけがいじめではない。些細な悪口もいじめにつながる。
  - ・周りの先生や友だち、家族に相談したら気持ちが楽になった。
- など、多くの意見が出されました。



### いじめを自分の問題として考え、安心して過ごせる学校にするために一人ひとりができること

後半のグループ協議や全体協議でも活発に議論が交わされました。

- ・様々なことを相談できる「目安箱」を設置したらどうか
- ・異学年交流など、多くの人と交流する場を多くもちたい
- ・先生だけでなく、生徒間でももっと「あいさつ」をしたい

最後に

- ・一人ひとりがいじめは許さないという想いをもつこと
- ・一人ひとりがいじめを自分の問題として考えること
- ・一人ひとりの小さな勇気を大きな力にするために、信頼できる友だちや仲間とともに支え合い、仲間で行動にうつすこと

などが確認されました。

本市代表2名もグループ協議において、いじめを許さない雰囲気づくりや支え合いの大切さなどについて意見を積極的に発表していました。

例年とちがいで、2時間という限られた時間ではありましたが、いじめについて真剣に考え、大切にしたいことを確認できた有意義な時間となりました。

